

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	日本人妊婦における Rotational thromboelastometry (ROTEM) の基準値と分娩後異常出血の予測に関する後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	これまで当院で分娩された妊婦さんで予定帝王切開術や計画無痛分娩の前に行った ROTEM 検査(入院時の血液検査で行っている血のかたまりやすさをみる検査)の結果と分娩時の情報を調べることで、妊娠 37 週以降の妊婦さんの ROTEM 検査の正常範囲を検討することと、分娩前の ROTEM 検査の値が分娩時の異常出血を予測できるかを検討することを目的としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2023 年 7 月 1 日～2024 年 1 月 31 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院で分娩された妊婦さんで ROTEM の検査を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	ROTEM 検査の結果、年齢、初産経産、BMI、既往歴、周産期合併症の有無、分娩方法、無痛分娩の有無、分娩週数、分娩時出血量、輸血の有無、児の出生体重、アプガースコア、臍帯動脈血 pH	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	長尾 健
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 教授 佐村 修	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年5月頃～
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：助教 長尾 健（ながお たけし） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。